

おばとの話しの中で、
東海道線に沿って、南側に
新幹線が出来ると言うこと。

北側なら、立ち退きで、おばとも
保証が出て、うれしいところだったが、
残念やったらしい。

帰り、おばの家のそばの、
新幹線の工事現場の様子を見に行った。
人が二三人しかいなくて、静かだった。

僕が小学校四年の時の事を思い出す。

あの時は、特急こだま号の開通で、
友達と、はるばる、北の大徳寺の家から、
京都駅まで、自転車乗って、見に行った。
あの時の、こだま号はかっこ良かった。

423

僕の頭の中はまた真っ白になった

「早く走る」と聞いて行ったら、
駅へはのろのろ入って来た。

駅に止まって、何やらかんやら、
騒ぎがあつて、また、のろのろ出て行った。

もっと、風のように走る姿を想像していたのに。
当時の僕はがっかりした。

後で、駅と駅の間でスピード出すことに
気が付き、なるほどと思った。